

編集：
 ④エフエム二十一
 電話
 098-876-0021
 FAX
 098-877-1118
 E-mail
 radio@fm21.net

FM21 76.8MHz

FM broadcasting station "FM21". We wish your happy music life "no music no radio"



FM21を創り上げた男

株式会社エフエム二十一
 代表取締役石川丈浩



一九四〇年十一月生まれの石川丈浩さん。現在は総合建築業である株式会社丸産業の会長と株式会社エフエム二十一の代表取締役を兼任。エフエム二十一の舵取りをしながら自身もラジオ番組のパーソナリティーを務め、その傍ら、育成福祉会の理事と全国コミュニティ放送協会の理事の要職にある。毎週土曜日に著名な方々をゲストとして招き政治や経済の問題を中心に沖縄の自治についての社会問題を切り込む。石川さんが生まれたのは、第二次世界大戦の前年。幼少の頃は、戦中戦後の極貧の中で育ち、戦後の生活苦を体験し、

幼いながらも食べるために自ら働き家族を支える自立心を養った。幼少期の極貧生活の経験が後に会社を設立し成功に導くための糧となり、その後数々のボランティア活動に携わるきっかけともなっている。八十九年のハワイに瓦を送る会の運動では、戦後の沖縄を支え続けたハワイ沖縄移民の方々への恩返しとして、沖縄の土で焼かれた瓦（心）を贈り、ハワイ沖縄センター設立の際、建物の屋根に瓦を葺いた。その後、日本初の海浜条例の設置に携わった。海浜条例は、地元の人々がビーチに無料で自由に入りできるため設けられ

たもの。大手リゾートホテル等にビーチを囲われ地元の人が入れなくなってしまうという状況が今から三十年以上も前のハワイでも起こった。二十年ほど前の沖縄で起こりつつあった同じ状況下で、ハワイから学んで制定した海浜条例。石川さんは、政治や法律の専門家を多数集めて勉強会を組織し、自らの私財を投じて海浜条例制定に尽力し、平成三年に沖縄の海浜条例は施行された。「ウチナンチュである私たちが神から与えられた福祉である「海」に自由に入ることができることを確認したかった」と石川さんは言う。



また、カンボジアの内紛後の惨状に戦争直後の沖縄の姿を重ね、地雷で負傷した方々のため診療所を設立する資金援助や建築するボランティアも務めた。「戦争で打ちひしがれた状況から立ち直った経験を生かし、カンボジアでも何かお手伝いできないか」と思い活動した」と石川さんは語る。こういって活動を通して学んだ石川さんは「現在の日本は生活が物質的に豊かになった反面、大切なものを失ってしまったのではないだろうか」と警鐘を鳴らす。「今の社会は自分だけが、自分の家族だけが豊かで幸せであれば良いという風潮が目立ち社会は殺伐としている。沖縄は今、政治の面でも苦しい状況にあり、全国でも所得が最下位で全国平均の七割しかなく自殺率が非常に高い状況にある」とそんな希望を失いつつある社会に対し、解決策を考え、行き着い

たのが「FMコミュニティ放送局」だった。放送の目標は、「幸せ探し」。『どんな良い情報も音楽も一人で聴くよりはみんなと一緒に聴いたほうがより大きな喜びを得られる。そうすることによって社会と個人の間でできた溝を埋めたい』と石川さんは言う。「特に中高年層を勇気づけたい。戦争直後から必死になってきたのは紛れも無く今の中高年層。その素晴らしい知恵や経験をぜひ後世に伝えて欲しい」と願う。そんな石川さんの好きな言葉の一つに「今日がダメでも明日はきっと、明日がダメでも明後日はきっといい日になる」戦中戦後を生きて抜いて、物質的豊かさを得てもそれだけでは幸せになれないという深い気づきと希望を持って邁進する、石川さんの言葉の重みがひしひしと伝わってくる。

会社名
 愛称
 周波数
 出力所
 住所
 電話
 開局
 代表取締役
 資本金

株式会社エフエム二十一
 FM21 (エフエム21)
 76.8MHz
 20W
 沖縄県浦添市前田1-54-1-7F
 098-876-0021
 平成14年1月21日
 石川 丈浩
 3000万円

